

アサヒ地水探査(株)は、先ず第一に地下水を護る会社です。
 地下水環境の保護を通じて、土壌汚染の未然防止を図ります。
 アサヒ地水探査(株)は、地下水環境を御社の財産に出来る会社です。

アサヒ地水探査(株)は、いかなる場面でも御社の事業の支援を致します

地歴調査

Phase I

- 土壌汚染対策法に対応した地歴調査；1～2週間 / 10～50万円 / 1件
- グローバルスタンダードな地歴調査；1～3週間 / 20～50万円 / 1件 (ASTM規格；環境サイトアセスメント調査)
- 不動産 / 資産管理に適した簡易地歴調査；1～7日 / 1～5万円 / 1件
- 他社調査報告書のレビュー；1～2週間 / 10～20万円 / 1件 (1～3冊)

試料採取調査

Phase II

- 特定の懸念に対する環境評価を目的としたホットスポット調査
- 『汚染のおそれ(土壌汚染対策法)』『認定環境状態(RECs；ASTM)』等の汚染範囲の確定、あるいは対策方針の確定を目的とした調査
 [期間のめやす]
 - 報告書提出まで3週間
 - 概況(表層)調査；1～2日(～3,000m²)
 - 深度方向(ボーリング)調査；1日(～4地点 / ～深度10m)
 - 現地調査実施後の分析期間；1日(土壌ガス)、2週間(地下水 / 土壌)、1ヶ月(ダイオキシン)
- [費用のめやす]
 - 概況(表層)調査；100～400m²
 - 深度方向(ボーリング)調査；50～100万円 / 4地点
 - 分析費及び報告書作成費込みとして、100～200万円

措置

Phase III

- ☆ 事業のタイミング / 予算 / 規模に応じた最適な措置・対応を提案します！
- 地下水汚染 / 土壌汚染 対策措置 管理 / 監修
- 地下水汚染 / 土壌汚染 対策措置 実施
 [汚染リスクの管理措置 例] 作業は複合的に実施
 - 流体シミュレーション；30万円～ / 1式
 - 地下水モニタリング；数千円～ / 1地点 / 1回
 - 飛散防止措置(被覆 / 舗装)；数日 / 数千円～ / m²
- [汚染リスクの浄化措置 例] 作業は複合的に実施
 - 生物的分解(EDC注入等)；数か月～数年 / 1万円～ / m³
 - 地下水揚水；数年～ / 1万円～ / m³
 - 掘削除去；数週間～数か月 / 4万円～ / m³

Follow-up

フォローアップ

- 各種届出支援(水濁法 / 下水道法 / 保健所 / 土対法)
- プロジェクトマネジメント(環境部門)
- リスクコミュニケーション支援(住民説明会等 企画 / 支援、説明資料作成、対外交渉)
- 既存環境設備(井戸等)の有効利用提案 / 修理・補修・点検作業
- 英文報告書対応

アサヒ地水探査(株)は、確かな実績と経験で御社の要望に応えます！
 2000年～現在 国内電気機器メーカー工場調査 / 対策 環境管理
 2011年 豊洲新市場予定地の土壌汚染対策技術提案
 2013年 海外ODA関連業務 / 環境調査・対策業務開始

他 多数の実績あり



お困りではありませんか？

～アサヒ地水探査(株)の地下水汚染サービス～

地歴調査

住宅地図等の資料調査及び現地確認から、
地下水汚染 / 土壌汚染の原因となりうる土地利用履歴を調査します

-  オフィスビルで地歴調査を実施したところ、周辺に多くの『不明の事業所』が確認され、その結果、もらい汚染のおそれがある土地として判断されてしまった。
-  → 弊社の地歴調査なら、必要とされる情報に絞って調査をいたします。従って、無用に不安をあおるような調査結果にはなりません。
-  地歴調査で汚染のおそれがない土地と判断されたものの、建築工事時（基礎工事時）に大量の廃棄物と基準超過土壌が発見され、工事がストップした。
-  → 弊社の地歴調査なら、依頼者が想定している事業計画に対して事前に注意すべき環境項目を指摘することで、事業の遅延を防ぎます。

試料採取調査

対象地における汚染懸念にもとづいて、
費用対効果の高い地下水調査 / 土壌調査を提案・実施します

-  お金をかけて調査した結果、土地評価に対して不利益な情報のみが手元に残ってしまった。
-  → 不動産取引に際し、土壌汚染調査結果は重要事項説明における開示資料となりますので、弊社は依頼者の立場を考慮し調査の必要性自体も検討し、依頼者の利益を最大限守ります。
-  調査会社の提案に従って調査を実施したものの、その意味がさっぱり解らない ...
-  → 弊社は、いわゆる『調査のための調査』は提案いたしません。依頼者と協議し、依頼者の求める事業計画を理解したうえで、必要とされる最小限の調査を提案します。また、既存調査報告書等のレビューや既存設備等の活用検討を通じて、現状に即した費用対効果の高い提案をします。

措置

対象地における事業計画にもとづいて、
費用対効果の高い地下水 / 土壌浄化対策を提案・実施します

-  土壌汚染浄化対策によって汚染自体は無くなっただけで、地中壁や井戸が残置され、非常に使いづらい土地になってしまった。
-  → 浄化したものの肝心の土地活用が十分に出来ないという結果は、本末転倒です。弊社なら、依頼者の事業計画全体を考慮し、地下水汚染や土壌汚染を含む環境問題がボトルネックにならないよう関係者（ステークホルダー）と協議・合意のうえで最適な対応策を提案・実施します。
-  浄化完了後の土地を見に行ったら、車が沈んだ ...
-  → 浄化方法によっては、一時的に著しく地耐力が失われる工法が存在します。弊社なら、工法検討時において、依頼者に対し考えられる選択肢を提示し、各々の長所短所を説明したうえで、事後の事業計画に有利になる工法を選定します。

アサヒ地水探査株式会社 〒151-0051 東京都千駄ヶ谷 3-40-5

TEL03-3478-7216 FAX.03-3478-1015

土壌汚染 対策法 指定調査機関（環 2003-1-768）

地質調査業（質 20 第 746 号）、建設コンサルタント（建 21 第 9365 号）

さく井工事業、東京都知事登録（般 -20）第 109237 号

